

すべては、港南小の子供たちのために

港南小学校では、子供たちが「できるようになった。分かるようになった。だから学校が楽しい」と思い、保護者が「登校させて安心。子供たちの成長が楽しみ」と感じ、地域の人々が「私たちの町の学校を応援したい」と期待し、そして、教職員が「やりがいがある」「初任の学校でよかった」と振り返られるような学校づくりを目指し、年間計画を作成しております。

●東京都教育委員会の教育目標

子供たちが、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願い、
○互いの人格を尊重し思いやりと規範意識のある人間
○社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
○自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間の育成に向けた教育を重視する。
※学校教育及び社会教育の充実
※生涯学習社会の実現
※家庭、学校、地域の責任と連携
※全都民が教育に参加

●港区の基本目標と教育改革の目指す方向

- (1) 徳・知・体を育む学びの推進
 - (2) 生き抜く力を育む学びの推進
 - (3) 地域社会で支え合う学びの推進
 - (4) 学びを支える教育環境の充実
- ◎学校経営のベクトル
①港区学校教育推進計画を基盤として、組織的な港区教育ビジョンの推進
②授業研究を通して教員の資質向上
③港区の基本目標と教育改革の目指す方向
港区研究奨励校として授業研究の継続
ICTを使った教育の質の向上、体力の向上、環境教育の推進
④児童数・学級数増に積極的に対応
⑤地域、PTA、青少年委員とともに歩む学校

●本校の教育目標

人間尊重の精神を培い、心身ともに健やかで広く世界に目を向けた、個性豊かな意欲あふれる児童の育成を目指し次の目標を設定する。

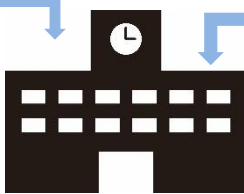
よく考えて学習する子	自分の力に合った学習課題をもち、解決しようとする子
すなおで心豊かな子	思いやりの心をもち、友達や自分を大切にする子
進んではたらき協力する子	みんなのためになる仕事に進んで取り組み、友達と協力する子
健康でがんばりぬく子	様々なことを粘り強く最後までやりとげ、進んで心身を鍛える子

子供たちに確かな学力を定着させる学校

～一人ひとりの子供の力に合わせた学習指導・・・補充の内容が必要な子、発展的内容が必要な子がいる～

- 学ぶ意欲を継続・向上させ、学び方や振り返り方を知ること
→適切な課題設定と自己評価
- 各教科の基礎的・基本的内容を重視、補習の実施
- 主体的・対話的で深い学びを通して学びに向かう力の育成
- 協働的な学びの育成

目指す学校像



子供たちの健全な成長を保障する学校

～生活規範意識を高める指導、生命を尊重する指導に重点：「あいさつの励行」「粘り強く、最後まで。がまんすること」～

- きまりを守り、友達と仲良くし、いじめをしない子・・・大きな「い」と小さな「い」いたずら・いじわる・いやがらせ
- 生命の大切さが分かり、安全で健康な生活を送る子
- 「あいさつ」「へんじ」「あとしまつ」を推進

子供たちに豊かな心をはぐくむ学校

～人とのかかわり合いの中で、豊かな心をもつ子供を育成する～

- 教科や行事等を通して人とのかかわり合いや自己肯定感の向上を図る
- 全教育活動を通してカリキュラム・マネジメントを行い、豊かな心を育てる

中 期 的 目 標 と 方 策

●今年度を含め、今後五年間の目標と方策は以下の通りです。

R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
●港区教育ビジョンの推進	←教員の授業力向上、児童の学力定着・向上			
●ICTを活用した教育の推進	←タブレットを活用した授業の質の向上			
●少人数算数指導の充実：5学級7～9展開、6、7学級9～10展開				
●交換授業、学年内教科担任制の導入	←複数の目で児童理解			
●幼保小中連携教育の推進	幼保中への新たな働きかけ、港南アカデミー、幼保小連絡会・交流会等、コミュニティスクールへの移行			
●特別支援教育の充実	適正就学・適正支援。障害のある児童や発達障害の児童への指導の充実(わかば学級、わくわく教室)			
●人権尊重教育、生命尊重教育の充実	→いじめ、仲間はずれをしない。身近な動植物愛護。体罰根絶。			
●キャリア教育の充実	←キャリアパスポートの活用 ←外部人材の活用			
●運動・健康・安全・体力向上、体育学習指導、業間運動の充実、放課後の運動部活動の活性化、防災意識の向上				
●異年齢～集団交流の充実	←◎兄弟班活動等の重視 ◎保護者ボランティア、緊急メール全入			
●体験活動の重視と保護者・地域等との連携	→例：夏休み港南クラブの充実←PTA・地域・企業との連携			
●環境教育の推進	大学・地域と連携した活動			
●研究発表校		●研究奨励校	●研究奨励校発表	
●オリンピック・パラリンピック教育の実践				
●バラスポーツの理解				
●学習指導要領完全実施 カリキュラム・マネジメント				

徳・知・体の調和を目指して

～教職員の姿勢

組織的な取組～

- 一人で抱え込まない
 - 学年の子供たちは学年全体で見る
 - 学校の子供たちを学校全体で指導する
- 教職員の資質の向上→研究と研修＝実践力の育成
「先輩から学ぶこと」「先輩自ら学ぶこと」

教育を
支える条件
質の向上

～人との関わりの重視

感謝と貢献～

- 地域の皆様と共に
人々と関わる→人々から学ぶ→人々と活動する
- PTAの皆様と共に
理解を得る→協力を得る→成果を得る